

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)旧大名小学校跡地活用事業	階数	地上25F 地下1F
建設地	福岡県福岡市中央区大名2丁目16番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	10,000 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2019年11月25日
敷地面積	10,000 m ²	作成者	久米設計
建築面積	5,548 m ²	確認日	2019年11月25日
延床面積	91,237 m ²	確認者	久米設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 184 (kg-CO₂/年・m²)
 ②建築物の取組み 46
 ③上記+②以外の
 ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 4.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 中央区大名に計画された複合施設である。オフィス・ホテル棟、コミュニティ棟、イベントホール棟で構成されている。外構だけでなく、積極的に建物緑化を行い、緑豊かな空間を創出している。		その他
Q1 室内環境 ・空調、照明制御は、細かな制御が可能なシステムを採用し、室内環境の向上に配慮している。 ・事務室は換気量を30m ³ /h人以上確保する等、室内空気質環境を良好に保つための配慮をしている。	Q2 サービス性能 ・ゆとりある天井高、リフレッシュスペースの確保等により、居住者の快適性に配慮している。 ・UPSの設置や災害時の重要システムの優先運転計画等、災害時の各設備の機能維持について配慮をしている。	Q3 室外環境 (敷地内) ・外構だけでなく、積極的に建物を緑化することにより、緑の量を確保し、生物環境の創出に配慮している。 ・建物配置・形状等、周辺のまちなみ調した景観計画としている。
LR1 エネルギー ・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。 ・主要な用途別にエネルギー消費量を把握・分析可能な計画とし、エネルギーの効率的な運用に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を採用するだけでなく、雨水・再生水利用により、水資源保護に配慮している。 ・高強度の材料やリサイクル材等を使用することにより、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・十分なスペースの駐車・駐輪場を確保し、渋滞緩和に配慮した交通計画としている。 ・屋外照明、サイン照明は、周辺への漏れ光に配慮した計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される